

# 香取・東総ゾーン

暮らしやすさ  
特長とヒミツ

## とれたての海の幸も 大地の恵みもすぐそこ

ちばの“食料拠点”として、農業・畜産業・水産業が盛んな香取・東総ゾーンは、7市町が含まれます。朝市や産直市場、道の駅などが充実し、新鮮食材が身近に手に入るから、毎日の食卓も豊かに！ 風光明媚な景観や、江戸の風情を今に感じるまち並みに、心豊かな暮らしがイメージできます。茨城県と隣接し、茨城県や成田市への通勤・通学も便利なゾーンですよ。

東京駅へ的高速バスアクセス  
銚子駅から…約2時間35分  
佐原駅から…約1時間45分

とびきり  
おいしいものに  
出会えそうな予感！



日本ジオパークに認定された「犬吠埼」（銚子市）。「犬吠埼灯台」は、「世界の歴史的灯台100選」に



ブランド豚の  
おいしさに驚き！



### さすがちばの台所！ 食卓を彩るジモトの食材

農業は県内随一の生産高を誇り、特に注目は、利根川沿いの水郷地域や干潟八万石といわれる稲作地帯。良質な早場米の産地なのです。このゾーンは養豚・養鶏なども盛んで、旭市には、関東有数の規模の千葉県食肉公社も。

全国有数の水揚げ量を誇る銚子漁港や、沿岸漁業が盛んな九十九里地域もあります。産直市場や、素材を生かした飲食店もすぐそこ。おいしいものがあふれるゾーンで豊かな食を楽しんで。

- 1 活気ある「銚子漁港」（銚子市）。銚子沖は寒暖流の交錯する好漁場で、イワシ、サバ、サンマ、カツオ、マグロ類、ブリ、アジ、ヒラメなどがとれます
- 2 多古町は肥沃な土壌の水田が広がり、食味日本一に輝いたことがある「多古米こしひかり」の産地。「道の駅あじさい館」（多古町）では多古米のほか、大和芋など地元産品を販売
- 3 「道の駅季楽里あさひ」（旭市）には、地元産の新鮮野菜や豚肉などが並びます。買い物の後は、地元食材をふんだんに使った、自然味いっぱいバイキングレストランへ
- 4 都市と農村総合交流ターミナル「ふれあいパーク八日市場」（匝瑳市）。野菜や植木の展示・即売、地元食材を使用したレストランがあり、地域活性化の役割も

### お酒・みそ・しょうゆ醸造も盛んです！

江戸川、利根川の水運を利用して、しょうゆや日本酒づくりが広がりを果たそう！ ゾーンでは、工場や酒蔵見学ができる施設もあります。また、古くから農作物に恵まれ、地下水が豊富。醸造業が発展した神崎町は“発酵の里”としてその文化を発信し、まちおこしを進めます。発酵文化を魅力に感じて移住した人も！  
写真右・「道の駅 発酵の里こうざき」（神崎町）は2015年にオープン





## 景観、歴史、文化・・・ 個性あるまちが魅力

日本情緒あふれるまち並みは、流れる時間もゆったり! 香取・東総ゾーンには、水運を利用して「江戸優り(えどまさり)」といわれるほど栄えていた佐原があり、その面影を残すまち並みが小野川沿岸や香取街道に今も残ります。「香取神宮」やその周辺も、うっとりする景観が広がりますよ。

- 1 2 「佐原地区」(香取市)は歴史景観をよく残し、またそれを活かしたまちづくりに取り組んでいることが認められ、「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました
- 3 「香取神宮」(香取市)は、桜の名所として、シーズンはたくさんの花見客でにぎわいます。紅葉も見事



香取・東総  
ゾーン

**1 銚子市** ちょうしし  
企画財政課銚子創生室  
銚子市若宮町 1-1  
☎ 0479-24-8912  
<http://www.city.choshi.chiba.jp/>

**2 旭市** あさひし  
企画政策課政策推進班  
旭市二の 1920  
☎ 0479-62-5382  
<http://www.city.asahi.lg.jp/>

**3 匝瑳市** そうさし  
企画課まちづくり戦略室  
匝瑳市八日市場ハ 793-2  
☎ 0479-73-0081  
<https://www.city.sosa.lg.jp/>

**4 香取市** かとりし  
企画政策課  
香取市佐原口 2127  
☎ 0478-50-1206  
<http://www.city.katori.lg.jp/>

**5 神崎町** こうざきまち  
まちづくり課  
香取郡神崎町神崎本宿 163  
☎ 0478-72-2114  
<http://www.town.kozaki.chiba.jp/>

**6 多古町** たこまち  
地方創生課  
香取郡多古町多古 584  
☎ 0479-76-5417  
<http://www.town.tako.chiba.jp/>

**7 東庄町** とうのしょうまち  
総務課企画財政係  
香取郡東庄町笹川い 4713-131  
☎ 0478-86-6084  
<http://www.town.tohnosho.chiba.jp/>

## 花々にあふれる道、 公園が日々を彩ってくれる!

地元の人たちに愛される、花々が咲き乱れる散歩道。暮らしを彩る公園や、絶景の田園風景もたくさんあります。

旭市の蛇園出清水地区(へびそのでしみずちく)は、清水が湧出するほど自然豊か。荒地が増える中、地域一体となって保全活動に取り組み、ホテルや希少植物などが残る貴重な環境を守り、成果を上げています。

1 4月下旬～5月中旬、園内がつつじの花でうまる「雲井峠つつじ公園」(東庄町)。開花期間中はボンボリのライトアップが行われ、つつじまつりが開催されます



2 多古町では、栗山川の土手に「あじさい遊歩道」をつくり、憩いの場に。春は桜、菜の花、秋はコスモスが川辺を彩ります



## 暮らしの“気になる”をチェック!

### 住環境・仕事

自然景観や歴史・文化を生かした取り組みが行われるゾーン。四季を感じながら暮らすのが味わえます。

香取市では千葉県自治体では初めて太陽光発電事業を開始するなど、自然資源を生かした太陽光発電や風力発電事業を展開。また、地域特産品のブランド化をはじめとする一歩進んだ農水産業、地域資源を生かした観光業のほか、成田市・茨城県の企業への通勤も可能です。



「旭子子育て支援センターハニカム」(旭市)は子どもと気軽に遊べる屋内施設

### 健康・医療

ゾーンの基幹病院は、「国保旭中央病院(救命救急センター)」や「県立佐原病院」(香取市)です。

市民病院をはじめとする医療機関は身近に。

「銚子市立病院」は2015年から銚子市医療会社による運営で市民医療を支えています。



「国保旭中央病院」(旭市)

将来に向けて  
病院チェックは  
しとかなあかん





香取・東総  
ゾーン  
-----  
移住者  
インタビュー

高坂勝さん

●連絡先  
NPO SOSA PROJECT  
〒289-2113  
千葉県匝瑳市平木8786-28  
☎090-9322-8722

エコブログ  
「たまにはTSUKI  
でも眺めましょ」は  
右記QRコードから  
アクセス▶▶▶



ブランド米として有名な  
多古米など味の良い  
農作物が取れる地域です。

高坂勝さんはNPO法人SOSA PROJECTを創設し、匝瑳市内でお米や大豆を自給する豊かな里山でのライフスタイルを都会からの移住希望者に示し続けています。

「循環していくもの」を  
感じ取ってもらえる地域

日本人の主食であるお米や大豆、大豆はお醤油と味噌になりますよね。  
こういったものは、実は誰でも育てていたのに、いつのまにか買わなければいけないものになりました。  
SOSA PROJECTでは、お米と大豆を育て、1年の米作りを通じて、「実は誰でもできる」を感じ学びとりながら、田んぼ周辺の里山の木々・山菜・生き物に触れ、里山管理に携わり、地域の方からあまりものを沢山頂いたりする分かち合いや、「循環していくもの」を感じ取ってもらえる地域を作っています。そして、「私もやっていける、移住できる」と思ってもらい、実際に移住してもらうサポートをしています。  
私自身は「半農半NPO」「半農半株式会社」「半農半講演家」「半農半執筆家」といったことを営みとしています。



里山生活が無償で  
提供してくれるもの

お米や大豆を作れば、食べ物に困ることはないので、収入が小さくても安心して生きていけますよね。里山と里山生活は、人が生きるための安心のインフラを全て与えてくれます。  
緑・水・空気・食べ物と美味しさ・エネルギー・そして循環。美意識・安らぐ心・感動・謙虚さ・安心・学び。  
これらを果てしなく多く、無償で提供してくれるものが、里山及び里山生活です。  
お米というのは、山からしみ出てくる、たくさんの栄養素を含んだお水と、田んぼの中の土とで育まれます。そして糞は田畑に戻して土を富ませるし、かつては雨具、草履、布団など、様々なものに使われ、使い終わったらゴミではなくまた肥料として土に戻り、また新たな生き物の肥やしと変わるものです。  
本来日本人が、当たり前のように感じていた循環と里山を、米作りをすることによって体で覚えられます。様々なことの摂理を体で覚えることで感謝の気持ちや幸せな気持ちが心の底からふつふつと湧いてくるはず。循環するとはそういうものです。



## たいていの人は時間をかけて 地域に溶け込めるようになります

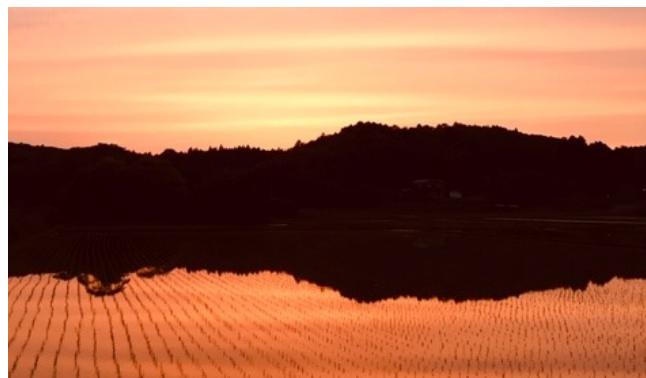
匝瑳市周辺は穏やかで、空が広くて、常にふと空を見上げた時気持ちいい場所です。

引きこもりの人・人生に悩む人・うつの人・やり直したい人・何かを始めたい人・生業を起こしたい人・地方に移住したい人・世の中を良くしたいと思っている人・障がいをお持ちでも・LGBTの方でも・多種多様な方がここには来ます。

肩書き、年齢といった縦の関係をこの場所ではフラットにして、みんなで交流し、支え合い助け合っています。基本的にはたいていの人は時間をかけて地域に溶け込めるようになりますから安心して構いません。

米作りを通じて、謙虚さとか感謝とか、そういったことが体で分かるようになり、心で感じるようになれば、自ずと地域の人たちとも意見を交わし、話を聞き交流を持てるようになるはず。穏やかに笑いあって、分かち合って、助け合って、ゆるくて弾力性のある地域です。

地域において心豊かに暮らすということは、食物を作って、おいしくて、できればナリワイも作って誰かのお役に立つことです。そういうことの大切さを伝えていきたいです。ここには新しい時代を地域から小さく作っていきける。そういう楽しさがあります。





香取・東総  
ゾーン  
移住者  
インタビュー

伊藤貴明さん

●連絡先  
COCO SEED  
〒288-0041  
千葉県銚子市中央町17-8  
☎080-5937-2177  
gc8555taka@gmail.com

銚子市移住者  
コミュニティ  
「新銚子人」は  
右記QRコード  
からアクセス▶



銚子は水産業に農業も  
日本有数の生産地。  
人懐っこい方が多い  
温かみのある地域です。

伊藤貴明さんは、銚子市内で移住支援団体「新銚子人」を立ち上げ、これから銚子市内に移住される方の相談に乗る活動を始めています。

移住したら  
知り合いがいなかった

2018年10月に移住支援団体「新銚子人」を立ち上げました。具体的には「知り合いが作れない」「こういう事がやりたいけれど、どこに繋がればいいのかわからない」といった移住の際の課題に対してサポートをしています。また2019年中の立ち上げを目標としているゲストハウスが出来れば、そこでも移住者サポートが出来ると考えています。

私自身は移住者で、銚子への移住当初は手作り風船工場で働き、代表になることを考えていたのですが、現在はCOCO SEEDという事業を立ち上げて、ゲストハウスのオープン準備を進めています。元々は横浜に住んで都内に通勤する普通のサラリーマンでした。移住したのは、都内の狭いところに詰め込まれた住み方が合わなかったからです。移住当初、知り合いがいなくて、どこに行ったらよいかわからなくて、2~3か月は自宅に籠りがちでしたし、特に何もすることがなかったのもとても暇でした(笑)。とても嫌な期間だったので、これから移住してくる人たちに同じ思いや苦労をしてもらいたくないと思い、新銚子人を立ち上げました。

新銚子人の立ち上げ

立ち上げから、実はまだ目立った結果は出ていません。どこに移住者がいるかもわかりにくいもので、市役所の移住担当の方と連携して改善していこうと話しています。もともと、銚子市内に移住のお試し住宅があって、そこに滞在された方のところへ出向いて移住相談に乗るという予定でしたが、移住相談の拠点とするお試し住宅が無くなってしまいました。

やはり拠点が無いと移住者も困るはずなので、相談対応もできるゲストハウスをオープンしようと準備をしているところです。銚子に来ていただいたときに色々とお話出来る場が出来れば良いなと思っています。





## 銚子は年中 なにかしらのイベントがある

地元の方々は、新銚子人について好意的な方が多いので、一緒にイベントを始めたり、企画を考えたりしています。たとえば、銚子って魚の街の印象が強いためあまり知られていないですが、日本有数の農業生産地です。それでキャベツ、トウモロコシ、メロンなどを作っている農家と協力してゲストハウスができれば農業体験などのツアープランを作ろうというお話をしています。他に知られていないこととしては、銚子はイベントが多く、よさこい祭りや銚子マルシェ、軽トラ市、スマイルリンクなど、年中なにかしらのイベントがあり、それぞれコミュニティにもなっています。趣味の街でもあって、サーフィンしたり、釣りをしたり、ヨガ、ダンス、絵描きなどをやる人が多いです。銚子に移住して一番思ったのは、みんな色んなことを楽しんでいて、地元の人とはどんな形でも受け入れてくれる人たちがたくさんいて、また興味を持って話しかけてくれるところです。基本的な人間付き合いがちゃんとできれば、すごく銚子は良いところですよ。気候も冬は温かくて、夏は涼しくて、私自身エアコンを家に持ってないくらいです。



都心からは特急利用で1時間50分くらいで、他県に比べれば近い距離ですよね。銚子市は、漁港関係や農業をされている方が多く、犬吠埼灯台もあって観光地。ただ観光地である点を活かしてないところもあるので、移住されてくる方は観光業や接客業も面白いかもしれません。



## 良い意味での適当さや人懐っこさ

実は、昔2年間住んでいたフィリピンの人たちに銚子の人たちの雰囲気すごく似ていると気がきました。フィリピンは、たとえばLGBTの方や障がいのある方など、色んな人たちが普通に話したりして暮らしている場所でした。そして、銚子の人の人懐っこさとか、良い意味での適当さであったり気軽に打ち解けられる人柄にとっても似ています。

そこで「新銚子人」のコンセプトにしていくものが多様性です。障がいのある人でも漁港で働く外国人でも分け隔てなく、様々な人が街にいて、普通に誰でも話ができるような街になればと思っています。